

平成24年度

第4回阿波市教育委員会定例会会議録

阿波市教育委員会

平成24年度第4回阿波市教育委員会定例会会議録

1 日 時 平成24年8月16日(木)
開会 午後2時00分
閉会 午後5時20分

2 場 所 吉野支所 2階会議室

3 出席委員

委 員 長	大 塚 清
委員長職務代理者	安 田 佳 子
委 員	大 村 勝 子
委 員	重 清 由 充
委 員	大 戸 井 美 生
委員(教育長)	板 野 正

4 会議出席者

教 育 次 長	新 居 正 和
教 育 次 長	藤 本 功 男
教育総務課長	妹 尾 明
学校教育課長	増 田 忠 正
(書記)教育総務課長補佐	上 田 美智代

5 付議事項

- (1) 前回会議録の承認について
- (2) 教育長の報告について
- (3) 平成24年度教育委員会一般会計補正予算第3号について
- (4) 学校訪問の結果協議について
- (5) 準要保護の認定について
- (6) 教育委員会の体制について
- (7) その他

会議の概要は、次のとおり。

【大塚委員長】 定例会を開会する旨を告げる。

(1) 前回会議録の承認について

【大塚委員長】 事務局に説明を求める。

【新居教育次長】 配布されている会議録について説明する。

〈質 疑〉

なし

【大塚委員長】 「前回会議録の承認について」を承認する旨を告げる。

(2) 教育長の報告について

【大塚委員長】 教育長に報告を求める。

【板野教育長】 7月4日から8月16日までの行事等について報告。

〈質 疑〉

【大塚委員長】 ウェルカムパーティーの参加者は、阿波市で住まわれているのか。

【板野教育長】 夏休み中に短期的に滞在している家族が多いが、これから定住を考えている家族、既にこちらで仕事をしている家族もいる。

【大塚委員長】 「教育長の報告について」を承認する旨を告げる。

(3) 平成24年度教育委員会一般会計補正予算第3号について

【大塚委員長】 事務局に説明を求める。

【新居教育次長】 資料により説明。

〈質 疑〉

【大村委員】 震災などの場合は避難場所にもなるので、学校は、特に校舎外のトイレも整備をしてほしい。

【藤本教育次長】 市場小学校は、来年、肢体不自由児が入学する予定なので検討しなければならない。

【安田職務代理】 トイレのリースでこれだけのお金があるのであれば、最初から改修工事をしたほうがいいのか、検討してほしい。

【大塚委員長】 「平成24年度教育委員会一般会計補正予算第3号について」を承認する旨を告げる。

(4) 学校訪問の結果協議について

【大塚委員長】事務局に説明を求める。

【藤本教育次長】幼稚園9園、小学校10校、中学校4校の学校訪問について説明。

〈質 疑〉

【安田職務代理】以前は給食の試食があったが、今回はなかった。保護者から、給食の味についての不満を聞いていたので、どんな給食かと思っていた。

【大塚委員長】参観日等で、保護者が給食を試食する機会はあるのだろうか。

【藤本教育次長】試食会をしている学校もある。

【板野教育長】先日の給食センターの運営委員会でもその話が出た。調理員も変わるので、味にムラがでていたのかもしれないということだった。

【大村委員】正規の調理員だけでなく臨時の人が多いため、その点もネックになっているのかもしれない。

【板野教育長】来年は、阿波給食センター・市場給食センター・板野郡西部学校給食組合の3カ所の給食が試食できるように考える。

【重清委員】学校訪問の際に、通学路の危険箇所、スクールゾーン、市場中学校のプール東側のケヤキの木、大俣小学校の砂利、大俣・八幡・林小学校などの外のトイレ、御所小学校のグラウンドの排水、伊沢幼稚園の雨樋、送迎車の出入り、土成中央幼稚園のプール、土成中学校の自転車置き場など、学校から早々に改善してほしいと要望があったので、検討してほしい。

先生の言葉遣い・板書、土成小学校の災害時の引き渡し訓練、幼稚園の野菜づくり、林・伊沢・久勝幼稚園のオープンスクール、八幡幼稚園の男性保育士、小学校での聞く力・読み取る力・伝える力の教化、大俣小学校のノーチャイム生活、土成小学校の眠っている資源・素材の有効活用、市場小学校の制服リサイクル、特別支援を要する園児・児童・生徒への対応、家庭環境に問題がある生徒の保護者を含めてのサポート、基礎学力向上への取り組み等々、新しい試みや先生が苦勞されながらも真剣に子どもたちと向き合っている姿を頼もしく感じ、また今後の進展状況なども伺いたいと感じた。

【増田学校教育課長】市場中学校プールのケヤキは伐採する方向で進んでいる。

【板野教育長】大俣小学校の砂利の件は、学校とも相談したい。

【大村委員】各学校で提起されたことは、お金の必要なことではあるが、来年訪問したときに改善できたという声が聞こえるように検討してほしい。

学校訪問の時期は、秋は学校活動が一番充実する時期で、今より早いと学校がスタートするときにも重なるので、今の日程がやはりいいのかと思う。

【大戸井委員】一条小学校を訪問したときに、不審者が出たという話を聞いたが、その後対応はどうなったのだろうか。

【藤本教育次長】自治会長会でも、放課後の対応について話が出た。地域の安全を守る会で、それぞれ活動をしていただいているが、きめ細かく万全の態勢かといえばそこまではないと思うので、さらに対応していく必要がある。

一条小学校の件については、その後学校から報告もなかったもので、対処できていると思っていたが、最終確認まではできていなかった。

【大戸井委員】集団登校自体が崩壊している中、個別に登校するような状態になっているので危険が増すし、危険が増すので保護者が送迎するし、送迎が多くなってまた危険な状況になるという悪循環に陥っているように思われる。

【藤本教育次長】集団登校の点検もしたが、一部形骸化している状況も見られる。

【安田職務代理】パトロール車で見回っていても、子どもに一人も会わないときもある。

【藤本教育次長】子どもの下校時間や形態も変わってきている。何か事件があったときには、子どもを地域で守るという気運も高まるが、その後、有名無実になったりマンネリ化したりする場合もある。

【安田職務代理】忘れ物を届けにきた母親が、学校の敷地内で子どもを車でひいたという事故があったが、ああいう事故はどここの学校でも起こり得る状況だ。

【大塚委員長】自分の子どもも危険な目に遭っているのかもしれないのだから、送迎する保護者の方も安全に対する意識を高める必要がある。

【大村委員】学校の手前に駐車するスペースがあればいいが、ないので学校の近く近くとなって危険性が増してくる。

【大塚委員長】「学校訪問の結果協議について」を承認する旨を告げる。

(5) 準要保護の認定について

【大塚委員長】事務局に説明を求める。

【増田学校教育課長】平成24年7月1日現在の認定状況と、8月1日現在の認定状況について説明。

〈質 疑〉

【大村委員】認定の際のチェックは、どうしているのか。

【増田学校教育課長】申請の際に所得証明をつけてもらい、世帯人数などの条件により審査をしている。

【大塚委員長】「準要保護の認定について」を承認する旨を告げる。

(6) 教育委員会の体制について

【大塚委員長】事務局に説明を求める。

【板野教育長】提案理由について説明。

【妹尾教育総務課長】「教育委員会の現状に関する調査における調査項目関連提言等」を資料に、教育委員会の組織及び運営について説明。

【藤本教育次長】資料の新聞記事について説明。

〈質 疑〉

【大塚委員長】会議録を公開していないというのは、何か理由があるのだろうか。

【妹尾教育総務課長】以前に比べ、ホームページ上の公開方法が容易になったので、承認いただければ、事務局としては、公開の方法で進めていきたいと考えている。

【大塚委員長】議会でも、答弁されている。

【板野教育長】前の議会でも、ホームページ上で公開する方向で検討すると答えている。公開の方法も、全面的な公開や要点のみの公開もある。現在の阿波市の公開状況は、やや消極的だと感じるが、今後はそういう訳にはいかないだろうと思う。

【安田職務代理】以前、教育委員会はお飾りで、あらかじめ決められたものを了承するだけの機関では言われたことがある。私もそれに関して、実際何かの役に立っているのだろうかと疑問には思っていたが、行政的な立場ではなく、一般的な目線から見たらおかしいと感じるところもあるので、気が付いたことは発言させていただいている。

【板野教育長】会議の中で委員に言っていただいたことに対し、事務局はできることはしっかりやっっていこうという方向でいる。意見・提言をお伺いしたいと思うし、お伺いして教育行政に反映していくべきであるし、そうしているつもりでいる。一部事務的なことに関しては、報告という形になっているかもしれないが、重要な局面ではご意見をいただいている。

【大村委員】一般市民の中には、私たちが毎日、事務局に勤めていると勘違いされている方もいる。学校訪問は、現場からしたらプレッシャーに感じているのだろうか。

【板野教育長】委員に指摘していただき、学校訪問を機に教材研究にしっかり励むなど、いい面でのプレッシャーになっているのではないか。昔はよくあった県教委の学校訪問も、地方分権ということで市教委に任されている。

【藤本教育次長】学校訪問は、学校評価につながる。委員が、教育施設や教育現場を見学して、いいところや課題がある点を評価し、教育行政に反映させようということが目的なので、子どもにとっても保護者にとっても、たいへん重要だと思う。

【重清委員】私も、新聞報道等を目にするたび、身の引き締まる思いでいた。子どもたちが環境の良い中で、仲良く気持ちよく勉強でき、社会教育・人権教育を受けることができるための教育委員会だと思うので、私もそのつもりで会議に参加していきたい。

学校訪問の中で、各学校からは深刻ないじめなどの問題は感じなかったが、ちょっとしたいたずらがいじめに発展するというのは、どの学校にもあり得ると思う。そのような場合、担任はどのような指導をしているのか、いじめた側・いじめられた側を一緒にの

場で話を聞くようなことはないのだろうかなど、対応をお伺いしたい。

【板野教育長】月1回の校長会では、毎回いじめの話を出している。ほとんどの学校から、いじめはあると回答がある。各校長からその状況について説明してもらおうが、継続中のものもあるが、上手く解決しているケースが多いと聴いている。しかし、これは分かった部分で、分からないケースもあるので、しっかりと状況を把握して、教職員間、子ども同士、家庭からなど、いろいろな人の目でいじめを捉えてもらいたいと伝えてある。

【大塚委員長】受け止め方は人それぞれだから、難しいと感じる。

【藤本教育次長】いじめの対応が後手に回っている場合もあるし、早期にきちっと向かい合い調べができていく学校もある。対応が上手くいかなくて保護者が問題化している場合は教育委員会にもあがってくる。対処が子ども目線、保護者目線でしっかりできている場合は、解決も早いし、後のしこりも残らない。

【重清委員】いじめの加害者または被害者を知っているかどうかで、対応が違ってくるというのは問題がある。公平な目で対応しなければならないと感じた。

【大村委員】学校現場自体が問題を抱え込むことにも、問題がある。ちょっとしたことでも、教育委員会に相談する、報告することが大事。

【藤本教育次長】学校と教育委員会との、普段からの意思疎通が重要になってくる。

【大村委員】保護者との連携、地域との連携が重要とはよくいうが、連携は難しい。しかし、連携を密にすればするほど、助けてくれる。

【大戸井委員】学校訪問の方法だが、いつも今回のような形だろうか。学校も訪問というだけで構えた様子だし、粛々と進んでいくようで、普段の状況が分かりづらいように思う。

【板野教育長】今回は定期的な訪問だったが、主任児童委員にはいつでも学校にお寄りくださいと声をかけているので、教育委員もいつでもどうぞと、学校には連絡しておきたい。

【大戸井委員】保護者として参観日には参加していたが、大きな声で私語をするなど、参観する保護者の態度にも問題があると感じていた。

【板野教育長】子どもを良くするためのことなので、何か気付かれたことがあれば、いつでも言っていただき、学校も訪問していただければと思う。

【大塚委員長】「教育委員会の体制について」を承認する旨を告げる。

(7) その他

【大塚委員長】「その他」について、何かあるか尋ねる。

【藤本教育次長】運動会の日程について、委員の都合を尋ねる。

〈質 疑〉

【安田職務代理】 小学校の敷地内は禁煙。いつも私は気になって、必ず言っている。

【大塚委員長】 私も知り合いなどには注意するが、「今日はいいのでは」という人もいる。

【板野教育長】 去年の自治会長会でも、運動会での飲酒・喫煙の話が出た。学校には、放送してくれるよう依頼した。

【大塚委員長】 学校の先生方も、もっと禁止を言っていたらと思う。

【板野教育長】 案内時に禁止を通知するよう、学校にしておく。

【大塚委員長】 本日の議事が全て終了したので、閉会する旨を告げる。

閉 会

上記のとおり相違ないことを証明します。

平成24年8月16日

委 員 長

委員長職務代理者

委 員

委 員

委 員

教 育 長

教育総務課課長補佐